

更新日：2025/3/26

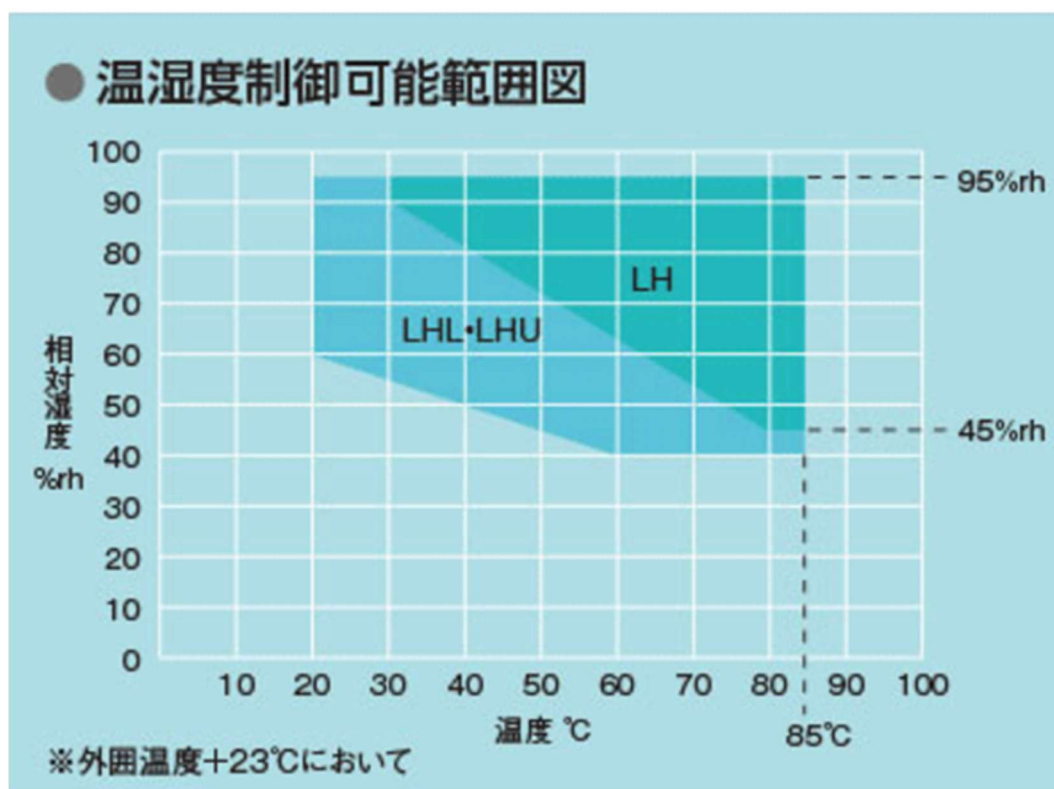
恒温恒湿機 (ヤマト科学 IG401) 簡易マニュアル



【基本機能】

温度 5～85℃，相対湿度 40～95％で恒温恒湿空間を形成可能.

湿度に関しては下記グラフの条件で運転可能（LHL・LHU に相当）.



【ご注意】 LH-114は除湿用冷凍機を搭載しておりません。従って本器の設置されている環境条件(通風性、外囲温湿度の変動等)により、この温湿度制御可能範囲の特に低湿範囲が異なりますので充分ご注意下さい。

【起動方法】

1. 電源プラグをコンセントに挿す.

※延長コードを使用する場合はこの装置以外のプラグを抜いて使用する. (電力消費量大)

2. 装置下部にある主電源を入れる.



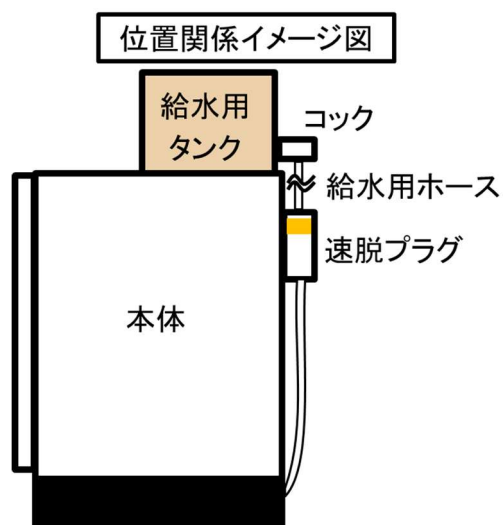
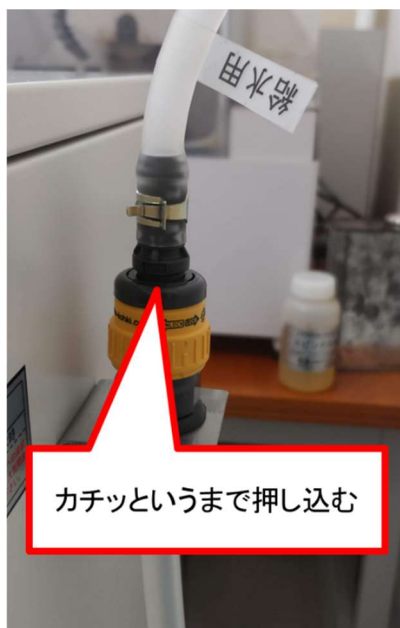
【給水方法】

恒湿運転を実施する場合は給水を実施する.

1. 電源プラグをコンセントに挿し、主電源を入れる.
2. 給水用タンクに必要な量の純水を入れる (MAX 20L).
3. 給水用タンクのcockに給水用ホースの口を差し込む.



4. 給水用ホースを速脱ソケットに取り付ける.



5. 給水用タンクのコックを開き必要な分だけ給水する. (温度 23℃湿度 75%で 10L で一晩以上運転可能)
6. 液晶ディスプレイに満水表示が出る, または本体裏の満水表示灯 (緑) が点灯した場合には給水タンクのコックを閉じ, 即座に給水を止める.
7. 速脱ソケットの黄色い部分 (unlock であることを確認) を下に引張り, 給水用ホースを取り外す.

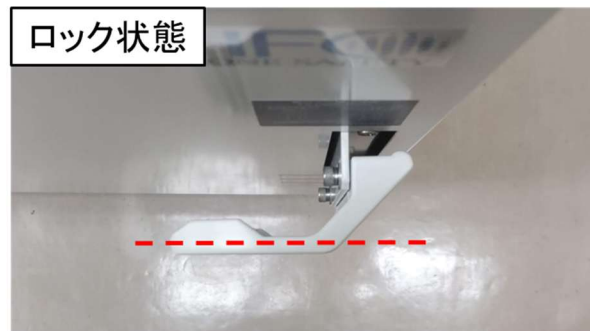
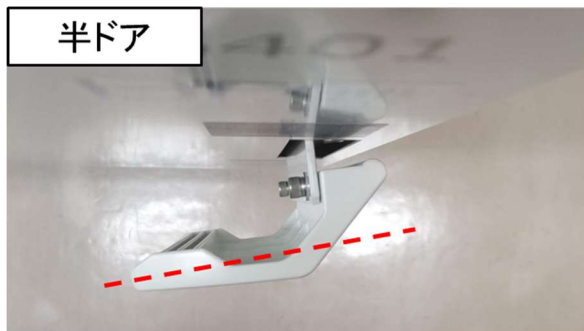
【高温高湿運転】

1. 扉を開き試料を置く.



2. 扉を閉める

※ただ閉じただけでは半ドア。音が鳴るまでハンドルをしっかりと押し込む。



※指定の温度，湿度まで達しない多くの原因が半ドア。しっかりと閉める。

3. 運転条件の設定

運転は定値運転，プログラム運転の2つある。



・定値運転

メニューの定値設定をタップ。

最大3つまで設定可能。

設定したい項目をタップして数値を入力する。



・プログラム運転

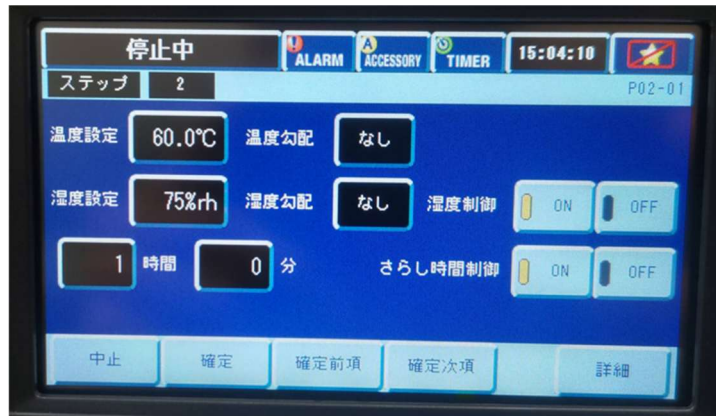
任意の温度、湿度を一定時間維持することが可能.

Ex)25℃80%1 時間→65℃75%2 時間→40℃70%30 分

- 1) メニューのプログラム設定をタップ
- 2) 編集をタップし、編集したいステップをタップ.



- 3) 温度、湿度など変更したい項目をタップして数字を入力.



- 4) 目的のプログラムを作製したら保存をタップ

4. 運転開始

- 1) メニューのモニタ情報>温度/湿度をタップ.
- 2) 画面上の停止中をタップ.
- 3) 実施したい運転コースをタップ.
- 4) 表示に従って運転を開始



5. 運転終了操作

※定値運転は手動での運転終了が必要.

※プログラム運転は自動で停止するが、停止後の温度湿度は維持されない.

(下記と同様の操作で運転中断も可能)

- 1) 定値運転中をタップし、停止実行をタップ.
- 2) 案内に従って運転を停止する.



【立ち下げ】

恒湿運転後は必ず乾燥運転（1～2）を実施する.

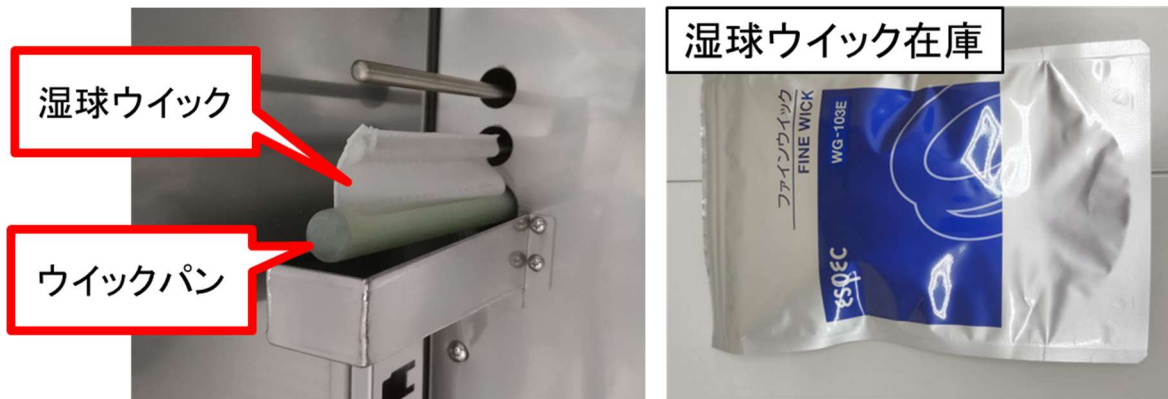
1. 扉を閉じ、定値運転で 70℃以上、湿度設定なしで 1 時間運転. (2025/3/26 時点：定値 3)
2. 扉を少し開け、同条件で 15 分運転
3. 運転を終了し、主電源を落とし、プラグを抜く.

【手入れ】

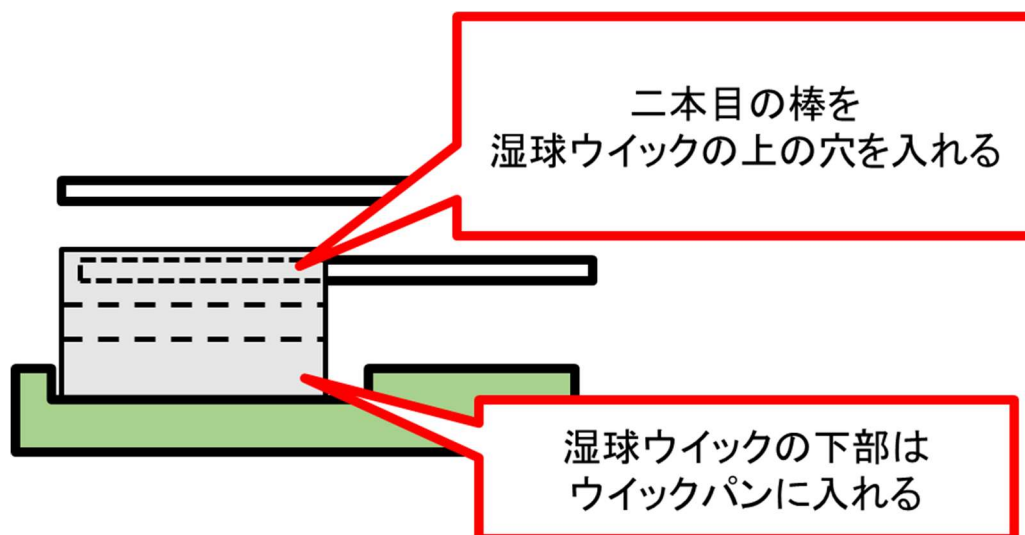
・湿球ウィックの交換（月一が目安）

※手袋をして実施（雑菌繁殖防止）

1. 古い湿球ウィックを取り外す



2. 袋から新しい湿球ウイックを取り出し、湿球温度検出端に挿入する。



・排水

長期間使用しない場合は給水タンクの水を抜く。

1. 主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
2. 排水用ホース（ホースのラベルに注意）を速脱ソケットに取り付ける（給水方法参照）
3. 速脱ソケット取り付け板の固定ねじを外す。※ねじ山をつぶさないように注意



4. 排水用ホースの先を水を溜められる桶の中にいれ、速脱ソケットを床に寝かせる。
※排水は水位差で行われる。速脱ソケットや排水用ホースの先が給水タンクの水位よりも低くなるとたん排水が始まるので注意。
5. 給水タンクの水を排出する。（満水時で約 16 分）
6. 速脱ソケットを元の位置にねじで固定する。
7. 速脱ソケットの黄色い部分を舌に引張って排水用ホースを取り外す。